



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年5月14日

上場会社名 ブリッジインターナショナル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7039 URL <http://bridge-g.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 融正
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理統括本部長 (氏名) 金澤 史英 (TEL) 03 (5787) 3030
 四半期報告書提出予定日 2020年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の業績 (2020年1月1日~2020年3月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	857	14.4	110	10.3	110	13.0	75	16.8
2019年12月期第1四半期	749	-	100	-	97	-	64	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	21.42	20.09
2019年12月期第1四半期	18.92	17.22

- (注) 1. 当社は、第1四半期の業績開示を2019年12月期から行っているため、2019年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
 2. 当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	2,629	2,215	84.3
2019年12月期	2,664	2,140	80.3

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 2,215百万円 2019年12月期 2,140百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2020年12月期	-	-	-	-	-
2020年12月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無



3. 2020年12月期の業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,696	13.3	424	10.0	424	10.0	280	8.3	81.02

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期1Q	3,521,400株	2019年12月期	3,521,400株
② 期末自己株式数	2020年12月期1Q	144株	2019年12月期	144株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期1Q	3,521,256株	2019年12月期1Q	3,412,532株

（注）当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調でスタートしたものの、新型コロナウイルス感染症の世界的流行の影響により、景気は急速に悪化しつつあり、先行き不透明な状況が続いております。

しかしながら、当社が展開するサービスは、そもそも法人営業の現場における電話やメール・web等を活用した営業活動(インサイドセールス)導入支援とその実行サービスであり、テレワーク実行に伴う業績への影響を受けにくい環境にあります。

また更にこのような環境の下、テレワークに適する営業活動スタイルであるインサイドセールスへの認知度が急速に上昇しているとともに、インサイドセールス事業への需要が徐々に進むといわれています。当社はこのような需要にお応えすることにより、厳しい環境下に置かれることが予想される企業の経営活動に寄与、支援をしております。

当第1四半期における当社インサイドセールス事業は、主要サービスであるアウトソーシングサービスに対する需要が高まり、売上高においては857百万円(前年同期比14.4%増)となりました。

利益におきましては、営業利益は110百万円(同10.3%増)となり、対売上営業利益率は12.9%と順調に推移しております。また、経常利益は110百万円(同13.0%増)、四半期純利益は75百万円(同16.8%増)となりました。

当社はインサイドセールス事業の単一セグメントであるため、サービス別の業績を示すと次のとおりであります。

当社主要サービスであるインサイドセールスアウトソーシングサービスは、当社第1四半期において既存顧客および取引規模拡大へのサービス提供に注力した結果、757百万円(前年同期比14.5%増)、インサイドセールスコンサルティングサービスにおきましては、26百万円(同74.7%増)。システムソリューションサービスについては、AIを活用した営業活動支援ツール「SAIN(サイン)」の自社クラウドツール提供サービスが好調に前年同期6百万円から10百万円(同54.9%増)と伸び、73百万円(同0.8%増)となりました。

	当期		前年同期		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
インサイドセールス アウトソーシングサービス	757	88.4	661	88.3	96	14.5
インサイドセールス コンサルティングサービス	26	3.1	15	2.0	11	74.7
システムソリューションサービス	73	8.5	72	9.7	0	0.8
合 計	857	100.0	749	100.0	107	14.4

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は、1,782百万円となり、前事業年度末に比べ50百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が62百万円減少したことやその他が18百万円増加したことなどによるものです。

当第1四半期会計期間末における固定資産は、846百万円となり、前事業年度末に比べ16百万円増加いたしました。これは主に無形固定資産が「SAIN」の開発費などで27百万円増加したことや有形固定資産が減価償却により9百万円減少したことなどによるものです。

この結果、総資産は2,629百万円となり、前事業年度末に比べ34百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は、413百万円となり、前事業年度末に比べ110百万円減少いたしました。これは主に確定納付等により未払法人税等が52百万円減少したこと、従業員への賞与の支給により賞与引当金が32百万円減少したこと及びその他が17百万円減少したことなどによるものです。

この結果、負債合計は、413百万円となり、前事業年度末に比べ110百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、2,215百万円となり、前事業年度末に比べ75百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益により利益剰余金が75百万円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当事業年度の業績につきましては、2020年2月12日に公表した「2019年12月期 決算短信」に記載のとおりであり、変更しておりません。

当社では、2020年3月より順次、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の社内外への感染拡大防止と従業員の安全確保を目的として、時差出勤等の防止施策に取り組んでおりましたが、4月7日の日本政府からの緊急事態宣言を受けて、順次、原則テレワークを実施しております。「(1) 経営成績に関する説明」にも記載のとおり、当社サービスはテレワーク実施に適しており、当該実施に係る影響は軽微であるととらえております。しかし、今後新型コロナウイルスの感染拡大による今後の影響が7月以降も長期化した場合、当社業績にも影響を与える可能性があります。今後、業績予想を修正する必要がある場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,057,059	994,845
売掛金	709,591	698,754
仕掛品	99	4,211
貯蔵品	4,058	4,058
その他	62,417	80,635
流動資産合計	1,833,226	1,782,505
固定資産		
有形固定資産	218,669	208,703
無形固定資産	422,116	449,857
投資その他の資産	190,094	188,326
固定資産合計	830,880	846,886
資産合計	2,664,107	2,629,391
負債の部		
流動負債		
買掛金	56,507	65,567
1年内返済予定の長期借入金	22,228	15,562
未払法人税等	96,194	43,221
賞与引当金	114,075	81,734
役員賞与引当金	13,296	3,339
その他	221,399	204,177
流動負債合計	523,701	413,602
負債合計	523,701	413,602
純資産の部		
株主資本		
資本金	534,480	534,480
資本剰余金	406,472	406,472
利益剰余金	1,200,340	1,275,766
自己株式	△244	△244
株主資本合計	2,141,049	2,216,474
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△643	△684
評価・換算差額等合計	△643	△684
純資産合計	2,140,405	2,215,789
負債純資産合計	2,664,107	2,629,391

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	749,812	857,774
売上原価	501,958	592,574
売上総利益	247,853	265,200
販売費及び一般管理費	147,745	154,802
営業利益	100,108	110,397
営業外収益		
受取利息	5	5
従業員負担金	342	63
助成金収入	-	330
その他	53	-
営業外収益合計	401	398
営業外費用		
支払利息	109	27
社債利息	15	-
上場関連費用	2,300	-
為替差損	147	-
その他	-	93
営業外費用合計	2,573	120
経常利益	97,936	110,675
特別損失		
減損損失	2,816	-
特別損失合計	2,816	-
税引前四半期純利益	95,119	110,675
法人税等	30,561	35,250
四半期純利益	64,557	75,425

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

当社は、インサイドセールス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。